


研究集会 パネルディスカッション

パネリスト: 事例報告者
司会: 五十田博(京大生存圏研究所)

研究集会の目的→ディスカッションへ

- 現在は、全てを同一視した評価手法を用いた検討事例や、地域特性を反映した検討事例など、さまざまな事例が研究において用いられていますが、**地域特性を反映した手法**を用いる方向へ
- 地域による違いは何か? : 多幾山、林、腰原
違うなら分類可能?
- 発言の趣旨をはっきりしましょう! (→まとめに)

まとめ

- 
- すでにわかっていること
 - 研究すればすぐにわかること(これから頑張ってやりましょう! = 研究予算を取りましょう。人を育てましょう)
 - 将来わかるかもしれないこと(地道に一步一步努力をしましょう= 研究予算を取りましょう。人を育てましょう)
 - 将来もわからないと現段階でいえること(もうやめましょう? 是非やるべきだ!?)

4つに分類されるわけではないが、

- その他
 - 今日の会は議論することに意義があり、今後のことは各人が考えるべきで、みんなで議論することではない!?
 - なんだかわからないけど、多幾山さんに呼ばれて来た。
 - たまたま京都にいた

研究集会の目的→ディスカッションへ

- 現在は、全てを**同一視**した評価手法を用いた検討事例や、地域特性を反映した検討事例など、さまざまな事例が研究において用いられていますが、**地域特性(構法特性?)を反映した手法**を用いる方向へ
- 画一化? 同一視? : 多幾山
- 地域による違いは何か? : 多幾山、林、腰原
違うなら分類可能? ところで今日は構造の話? 立地場所(地震動+津波)の話? 人的資源の話? 文化の継承? : 多幾山、林
- 常時微動と限界耐力のベースシアが関係するということや耐力と動的変形特性があまり関係しないなら、画一的な評価でいいということではないのか? : 林(あとで)

建物の構法調査

- 構法調査する項目 = 構造性能評価に必要な項目 そのほかはやらなくていい？

メインは 部材、接合部？：多幾山、佐藤、中川

- ここでそもそも構造性能評価とは？ ≠ 耐震診断？：多幾山

耐震設計、耐震診断 → よくわからないところは安全側に評価

構造性能評価 → より正確に耐震性能を求める。

- 各部の仕様がわかれば性能評価(荷重変形関係を求めること)ができる？：多幾山、佐藤、腰原

あとはWallstatにデータを入力すればいい？：中川

振動台実験しないと構造性能はわからない？：荒木

建物側の精度向上 → 地震動も正しく評価が必要ではないか？

地震動の確定(地盤調査と断層調査)

- 基準法、診断法における地震動と実地震動の関係(基準法は小さめ?)：腰原、荒木、中川
現行は建物側も控えめで両者でなんとなくバランスしている？
- 地震動を変えないまま評価を正確にして構造性能をあげると危険な建物を作ることにならないか?：荒木、中川、多幾山、林
- 地震ハザードを考えると危険度が低い→性能を下げた設計(全建物)? 新潟は地域係数0.9、福岡は0.7?：多幾山、林
- 地盤調査 断層調査などで 将来に来る地震動が予測できるか?：多幾山、林
- 地震動を予測 VS 構造性能評価 = 将来の地震動に対する安全性の評価 →これが目指すべき方向?

非破壊的に実施されるその他の調査

- 常時微動測定 なにに使うか? 構造性能との関係は?
- 常時微動と限界耐力計算のベースシアが関係している = 実は構造性能に地域性がなくて、地域特性とか、接合部とかそんな細かいことをいわなくていいということではないか?：林、向井
- 劣化調査 どのような調査をどこまでやればいいのか? 構造性能評価にどのように反映するか?：森、林
- そのほかの調査 ヤング係数測定などは必要か?：林

構造性能評価→補強へ

- ダンパーによる補強は効かない?：林、守屋
- 補強の目標は? 将来の地震に対してどのような状態になることを目標とするか? 倒壊しなければいい? 応答解析をする? ところで将来の地震動って? 何年先まで考えればいい?
- 耐震性能も何年先まで考えればいい? 耐震補強の耐用年数はどれくらい?
- 目標は専門家が定めるもの? 施主が決めるもの? 施主が決めるなら判断できるような素材が必要ではないか?
：宮本、腰原、林